

彙報

平成十六年度 研究所所員研究業績

奥山 直司

○論文

「ランカーの八僧―明治二十年代前半の印度留学僧の事績―」『仏教文化学会十周年・北條賢三博士古稀記念論文集 インド学諸思想とその周延』 山喜房仏書林 二〇〇四年六月 八九―一〇六頁

○口頭発表

「セイロン・インドにおける仏教復興運動と真言宗」 日本密教学会

二〇〇四年六月 高野山真言宗事務所

○その他

「インド国シッキム州十日間の旅報告」一―四 『高野山時報』三〇一四―三〇一七 二〇〇四年八月―九月

中村 本然

○論文

「真言密教の修法と如意宝珠」『高野山大学密教文化研究所紀要』第一八号 二〇〇五年二月 一―二九頁

○口頭発表

「道範記『菩提心論談義記』について」 密教文化研究所研究会 二〇〇四年十一月

「真言密教における金剛界三十七尊信仰の展開」 密教文化研究所研究会・日韓国際学術交流大会（韓国・大韓仏教真覚宗教育院と共催） 二〇〇四年十二月 高野山大学

乾 仁志

○著書

『マンダラの瞑想と儀礼』 高野山大学 二〇〇四年八月 一二五頁

○論文

「『初会金剛頂経』所説の四印について（2）―十六大菩薩の三昧耶印―」『仏教文化学会十周年・北條賢三博士古稀記念論文集 インド学諸思想とその周延』 山喜房仏書林 二〇〇四年六月 二五三―二三八（横組）

○口頭発表

「マンダラの瞑想と儀礼」 高野山大学夏季生涯学習講座③高野山

二〇〇四年八月

「金剛界念誦次第における三十七尊の役割―経典と儀軌の関係を中心に―」 密教文化研究所研究会・日韓国際学術交流大会（韓国・大韓仏教真覚宗教育院と共催） 二〇〇四年十二月 高野山大学

○その他

「観智院蔵『蓮華部心念誦儀軌』二巻本の翻刻（上）」『密教文化』第二二―三号 二〇〇四年二月 二〇―五九頁

武内 孝善

○論文

「奈良時代における『大日経』受容」『仏教文化学会十周年・北條賢三

博士古稀記念論文集 インド学諸思想とその周延』 山喜房仏書林二

〇〇四年六月 三九一—四二四頁

「高野山大学図書館・光明院文庫典籍文書目録(一)」『高野山大学論叢』第一八号 二〇〇四年二月 八七—一八四頁

「印信 法務御房集」の研究(一) 解題・本文校訂・影印」『高野山大学密教文化研究所紀要』第一八号 二〇〇五年二月 三一—一六頁

「方田郷」地名の木簡発見・後日譚」『密教学会報』第四三号 二〇〇五年三月 一—六頁

「覚鑿上人書写の『小野六帖』」『智山学报』第五四輯 二〇〇五年三月 一一三—一六一頁

〇口頭発表

「空海の出家と入唐」 空海入唐二二〇〇年記念「日中国際検討会」

二〇〇五年六月 上海復旦大学

「空海の誕生地をめぐって」 密教文化研究所研究会 二〇〇五年三月

〇その他

「お大師さまの本籍地に関する新出資料」『高野山時報』三〇二七号

二〇〇五年一月 一一四—一二〇頁

「弘法大師受法の経緯—大師の出家と入唐—」『第40回高野山安居会講義録』 二〇〇五年三月 一一九—一八〇頁

藤田 光寛

〇口頭発表

「高野山の開創とその意義」 高野町・高野町教育委員会・高野山大

学共催講座 高野山学(高野町中央公民館) 二〇〇四年五月

「高野山の密教文化」 高野山大学秋季生涯学習講座③大阪(大阪国際会議場) 二〇〇四年九月

「高野山上の伝統行事の今と昔」 高野町・高野町教育委員会・高野山

大学共催講座 高野山学(高野町中央公民館) 二〇〇四年九月

「高野山上の伝統行事を学ぶ」 高野町・高野町教育委員会・高野山

大学共催講座 高野山学(高野町中央公民館) 二〇〇四年十月

「高野山の学道と年中行事」 高野山大学秋季生涯学習講座③大阪

(大阪国際会議場) 二〇〇四年十月

平成十六年度 寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十六年四月より平成十七年三月末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力と御支援をお願いいたします。

寄贈図書

〇あしかび叢書 1(ロシアにおける日本研究・神道研究の現状)

国際文化工房編 (神道国際学会 平成12年5月) 発行者殿

〇雨水と地下水—それは天の恵み 国際文化工房編

(神道国際学会) 発行者殿

〇阿波の僧侶と高野山 庄野光昭著 (朱鷺書房 平成16年4月)

著者殿

- 安養院所蔵文書・聖教類目録 1、2
 (板橋区教育委員会 平成15年3月、16年3月) 発行者殿
- 石山寺資料叢書 聖教篇 第3 石山寺文化財総合調査団編
 (法蔵館 平成16年12月) 石山寺殿
- 伊勢の式年遷官―その由来と理由 櫻井勝之進著
 (皇学館出版部 平成15年2月) 神道国際学会殿
- 大谷大学百年史 資料編 別冊〈戦時体験集〉大谷大学真宗総合研究所編
 (大谷大学 平成16年3月) 編者殿
- おやさと研究所六十年史
 (天理大学おやさと研究所 平成16年3月) 発行者殿
- 梅堂思想と密教〈Hoedang and Esoteric Buddhism〉
 (平成15年9月) 許一範殿
- 勸修寺論輯 創刊号(勸修寺聖教文書調査団 平成16年3月)
 皇学館大学社会福祉学部地域福祉文化研究所殿
- 北林トモ 反戦平和の信念を貫いた女性 史料集〈和大歴史学叢書2〉
 (和歌山大学教育学部歴史学研究室 平成16年3月)
 和歌山大学紀州経済史文化史研究所殿
- きのくにの歴史と文化 和歌山県立博物館編
 (同博物館 平成16年5月) 甲田博史殿
- 堯栄文庫研究紀要 第5号 親王院堯栄文庫編
 (親王院堯栄文庫 平成16年8月) 発行者殿
- 百済をもう一度考える 崔夢竜編著
 (図書出版 周留城 平成16年11月) 河廷龍殿
- 校勘 譯註 三國遺事〈原本復原のための三國遺事伝〉 河廷龍著
 (時空社 平成15年3月) 著者殿
- 高野山僧伝聞書〈近・現代篇〉 報恩院山口耕榮著
 (報恩院 平成16年7月) 著者殿
- 高野山大学夏季生涯学習講座Ⅲ 高野山テキスト
 〈空海の詩文でたどる在唐の日々〉 岸田智子著
 (高野山大学 平成16年8月) 発行者殿
- 高野山大学夏季生涯学習講座Ⅳ 高野山テキスト
 〈マンダラの瞑想と儀礼〉 乾仁志著
 (高野山大学 平成16年8月) 発行者殿
- 高野山大学論叢 第39巻 高野山大学編(同大学 平成16年2月)
 発行者殿
- 国際シンポジウム〈神道と日本文化〉 神道国際学会編
 (同学会 平成7年6月) 編者殿
- 国際シンポジウム〈神道―その普遍性〉 神道国際学会編
 (同学会 平成8年7月) 編者殿
- 国際シンポジウム〈21世紀の宗教像 世界共生の探求〉
 神道国際学会編(同学会 平成9年10月) 編者殿
- 国際シンポジウム〈神道と能楽〉 国際文化工房編
 (神道国際学会 平成13年2月) 発行者殿
- 国際シンポジウム〈円卓討論会 公開シンポジウム〉 国際文化工房編
 (神道国際学会 平成12年11月) 発行者殿
- 国宝 広隆寺の仏像〈全9巻〉長岡龍作責任編集、松島健監修
 (同朋舎メディアプラン 平成14年6月) 発行者殿
- 古書肆100年 一誠堂書店(一誠堂書店 平成16年7月)
 発行者殿
- 座談会「環太平洋地域における神道研究に関する情報交換」
 〈2007セミナーブック2〉 国際文化工房編

- 神道国際学会 平成8年11月) 発行者殿
 ○沙門空海唐の国にて鬼と宴す 全4巻 夢枕獯著
 (徳間書店 平成16年7月、8月、9月) 蓮田公規殿
 ○四季の高野山町石道 笹田義美著(平成16年4月) 甲田博史殿
 ○四度事鈔 全 地藏院道快記
 (南山事教研修会 平成16年10月) 発行者殿
 ○宗教の概念とリアリティ 天理大学おやさと研究所編
 (同研究所 平成16年3月) 編者殿
 ○修美 第23巻 通巻86〜88号
 (修美社 平成16年4月、7月、10月) 発行者殿
 ○修美 第24巻 通巻89巻 (修美社 平成17年1月) 発行者殿
 ○真言密教入門の書 入密暗誦要文 富田敦純編著
 (明王山宝仙寺 平成16年8月) 齋藤眞純殿
 ○神道古典研究所紀要 第10号 神道古典研究所編
 (神道大系編纂会 平成16年3月) 発行者殿
 ○神道セミナー「健康と霊性」〈CSFセミナーブック4〉
 国際文化工房編(神道国際学会 平成12年5月) 発行者殿
 ○神道セミナー「神道の過去 現在 未来」〈CSFセミナーブック1〉
 国際文化工房編(神道国際学会 平成8年11月) 発行者殿
 ○神道セミナー「日本の近現代に見る神道」〈CSFセミナーブック5〉
 国際文化工房編(神道国際学会 平成13年8月) 発行者殿
 ○神道ブックレット1〈神道の世界〉 蘭田稔著
 (弘文館 平成9年4月) 神道国際学会殿
 ○真言宗全書 全44巻 (高野山大学出版部 平成16年4月) 発行者殿
 ○人文研ブックレット16〈シェイクスピア問題劇におけるNarrative〉
 百瀬泉著(中央大学人文科学研究所 平成16年9月) 発行者殿
 ○仙石山論集 第1巻(国際仏教学大学院大学 平成16年9月) 国際仏教学大学院大学附属図書館殿
 ○大藏経対照目録 1、2
 (国際仏教学大学院大学附属図書館 平成16年3月、17年1月) 発行者殿
 ○誰でも神道 蘭田稔著(弘文館 平成10年9月) 神道国際学会殿
 ○智山伝法院選書 第11号〈智山の論義―伝法大会と冬報恩講〉
 (智山伝法院 平成17年2月) 発行者殿
 ○中央学院大学社会学システム研究所紀要 第5巻 第1、2号
 中央学院大学社会学システム研究所
 (同研究所・平成16年12月、17年3月) 発行者殿
 ○中央大学人文科学研究所研究叢書34〈剣と愛と〉
 中央大学人文科学研究所編(中央大学出版部 平成16年8月) 編者殿
 ○中性院流聖教 全17巻 (大聖寺 石井聖己 平成15年11月) 発行者殿
 ○澄禅「四国遍路日記」 宮崎忍勝解説・校注
 (大東出版社 昭和52年10月) 甲田博史殿
 ○天理教の活動と上海伝道庁〈戦前・戦中の中国伝道〉
 天理大学おやさと研究所編(同研究所 平成15年3月) 編者殿
 ○道教と日本文化 神道国際学会編(同学会 平成15年1月) 発行者殿
 ○2002シンポジウム報告書 英訳付〈エコフェミニズムの可能性〉
 天理大学おやさと研究所編(同研究所 平成15年3月) 編者殿
 ○拔萃のつばり 64 熊平製作所編

- 原田敏明每文社文庫写真目録 (同製作所 平成17年1月) 発行者殿
皇学館大学神道研究所編
- 原田敏明每文社文庫蔵書目録 (同研究所 平成16年6月) 編者殿
皇学館大学神道研究所編
- 般若心経秘鍵入門 村岡空著 (同研究所 平成16年3月) 編者殿
- 東アジア仏教研究 第2号 (大覚寺出版部 平成16年8月) 発行者殿
創価大学文学部菅野研究室内東アジア仏教研究会編
- 東山御文庫を中心とした禁裏本および禁裏文庫の総合的研究 (同研究会 平成16年5月) 編者殿
〈1998年度～2000年度 科学研究費補助金基盤研究(A)(2) 研究成果報告書〉 田島公編
(東京大学史料編纂所 田島公 平成13年3月) 編者殿
- 福神 第10号 (福神研究所 平成16年12月) 発行者殿
編者殿
- 仏教文化学会十周年・北條賢三博士古稀記念論文集 (同論文集刊行会編
〈インド学諸思想とその周延〉 山喜房仏書林 平成16年6月) 乾仁志殿
- 平成16年度秋季特別企画展〈チベットマンガラ展〉 川崎一洋殿
富山県立山博物館編 (同博物館 平成16年10月)
- 梵蔵漢和対照 宝聚経 蜜波羅鳳洲著 (山喜房仏書林 平成16年3月) 著者殿
- 密教学報; 第6輯 威徳大学校密教文化研究院編 (同研究院 平成16年10月) 発行者殿
- 密教行法中の金剛界三十七尊 〈日韓国際学術交流大会〉 (平成16年12月) 許一範殿
(平成16年12月) 許一範殿
- 密教行法中の金剛界三十七尊 〈韓日国際学術交流大会〉 (平成16年12月) 許一範殿
(平成16年12月) 許一範殿
- 密教の護摩と灌頂 惠浄 崔鐘雄監修、歸浄 許一範解説 (大韓仏教真覚院 平成16年12月) 許一範殿
- 密教文化 第211、212号 密教研究会編 (密教研究会 平成15年12月、16年3月) 発行者殿
- Indosan Nipponji Bodh-Gaya, Buddhism and Bio-Ethics, The XXVIII International Buddhist Conference. International Buddhist Conference, 2002. 発行者殿
- Francois Lachnad ed., Cahiers d'Extrême-Asie 13. Kyoto: École Française d'Extrême-Orient, 2002-2003. 発行者殿
- Francois Lachnad ed., Cahiers d'Extrême-Asie 14. Kyoto: École Française d'Extrême-Orient, 2004. 発行者殿
- H. W. Bodewitz and Minoru Hara ed., Gedenkschrift J. W. de Jong. Studia Philologica Buddhica, Monograph Series 17. Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2004. 発行者殿
- International Association for Buddhist Thought & Culture, International Journal of Buddhist Thought & Culture: Vol. 3. Korea: International Association for Buddhist Thought & Culture, 2003. 発行者殿
- International Association for Buddhist Thought & Culture, International Journal of Buddhist Thought & Culture: Vol. 4. Korea: International Association for Buddhist Thought & Culture, 2003. 発行者殿

- Culture, 2004. 発行者殿
- Noriyuki Kudo, The Karmavibhanga, Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica 7. Tokyo: The International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University. 2004. 発行者殿
- Institute of Buddhist Studies, ed., Pacific World, Journal of the Institute of Buddhist Studies; Third series No.5, Berkeley, Institute of Buddhist Studies, 2003. 発行者殿
- Oyasato Institute for the Study of Religion Tenri University, Tenri Journal of Religion: No.32. Tenri: Tenri University Press, 2004. 発行者殿
- Robert Krizer, Vasubandhu and the Yogacarabhumī, Studia Philologica Buddhica Monograph Series 18. Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2005. 発行者殿
- Tetsuo Yamaori, Wandering Spirits and Temporary Corpses Studies in the History of Japanese Religions, Nichibunken Monograph Series No.7. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2004. 発行者殿
- 交換寄贈雑誌
- 1 愛知学院大学文学部紀要〈第33、34号〉
愛知学院大学文学会（同会・平成16年3月、17年3月）
- 2 愛知県立大学外国語学部紀要
〈第37号 地域研究・国際学編、言語・文学編〉
愛知県立大学外国語学部編（同大学・平成17年3月）
- 3 あふひ・AOI〈第9号〉
京都産業大学日本文化研究所（同研究所・平成16年3月）
- 4 アジア研究所紀要〈第30号〉
亜細亜大学アジア研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 5 アジア文化研究〈30、別冊13〉
国際基督教大学アジア文化研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 6 アジア文化研究所年報〈第39号（2004年度）〉
東洋大学アジア文化研究所編（同研究所・平成17年2月）
- 7 叡山学院研究所紀要〈第26号〉
叡山学院編（同学院・平成16年3月）
- 8 大倉山論集〈第50輯〉
大倉精神文化研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 9 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第21号別冊〉
大谷大学真宗総合研究所編（同研究所・平成16年6月）
- 10 神田外語大学紀要〈第16号〉
神田外語大学編（同大学・平成16年3月）
- 11 紀州経済史文化史研究所紀要〈第24、25号〉
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
（同研究所・平成16年3月、17年3月）
- 12 岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要〈第3、4号〉
岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所編
- 13 九州大谷研究紀要〈第31号〉
九州大谷短期大学内九州大谷学会編（同学会・平成17年3月、12月）
- 14 教化学論集〈第4号〉

- 15 日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗務院・平成16年3月）
京都産業大学日本文化研究所紀要〈第9号〉
- 16 京都産業大学日本文化研究所編（同研究所・平成16年3月）
京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要〈第18号〉
京都女子大学宗教・文化研究所編（同大学・平成17年3月）
- 17 現代宗教研究〈第38号〉
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗務院・平成16年3月）
- 18 現代密教〈第17号〉
智山伝法院（同院・平成16年3月）
- 19 皇学館大学神道研究所紀要〈第20、21輯〉
皇学館大学神道研究所編（同研究所・平成16年3月、17年3月）
- 20 光華女子大学研究紀要〈第41号〉
光華女子大学編（同大学・平成15年12月）
- 21 光華女子大学短期大学部研究紀要〈第41集〉
光華女子大学短期大学部編（同大学部・平成15年12月）
- 22 高野山大学大学院紀要〈第7、8号〉
高野山大学大学院文学研究科編
（同大学・平成15年2月、16年12月）
- 23 国際日本文学研究集會會議録〈第27回（二〇〇三）〉
国文学研究資料館編（同資料館・平成16年3月）
- 24 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第7、8号〉
国際仏教学大学院大学（同大学・平成16年3月）
- 25 史境〈第48、49号〉
歴史人類学会編（同学会・平成16年3月、9月）
- 26 種智院大学研究紀要〈第6号〉
種智院大学基礎教育研究室編（同大学・平成17年3月）
- 27 城西大学国際文化研究所紀要〈第10号〉
城西大学国際文化研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 28 信愛紀要〈第45号〉
和歌山信愛女子短期大学（同大学・平成17年3月）
- 29 真宗文化〈第12・13号〉
京都光華女子大学真宗文化研究所（同研究所・平成16年3月）
- 30 神道資料叢刊〈10、日本書紀私見聞〉
中世神道語彙研究会編（皇学館大学神道研究所・平成16年3月）
- 31 神道資料叢刊〈11、神三郡神社参詣記〉世古口藤平著
（皇学館大学神道研究所・平成17年3月）
- 32 人文研紀要〈第50、51、52号〉
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成16年10月）
- 33 人文研究〈第55巻 第1、2、4、7分冊〉
大阪市立大学大学院文学研究科（同研究科・平成16年3月）
- 34 西山学会年報〈第14号〉
西山学会編（同学会・平成16年11月）
- 35 西山学報〈第49号〉
西山短期大学（同大学・平成16年5月）
- 36 世界の日本研究〈2004〉
国際日本文化研究センター（同センター・平成16年11月）
- 37 禅研究所紀要〈第32号〉
愛知学院大学禅研究所（同大学同研究所・平成16年3月）
- 38 善通寺教学振興会紀要〈第9号〉
善通寺教学振興会（同会・平成15年12月）
- 39 創価大学国際仏教学高等教育研究所年報〈第7号〉
創価大学国際仏教学高等教育研究所編
（同大学同研究所・平成16年3月）

- 40 地域と社会〈第7号〉
大阪商業大学比較地域研究所編（同研究所・平成16年7月）
- 41 筑紫女学園大学紀要〈第17号〉
筑紫女学園大学編（同大学・平成17年1月）
- 42 筑紫女学園短期大学紀要〈第40号〉
筑紫女学園短期大学編（同大学・平成17年1月）
- 43 智山教化センター年報〈第8号〉
智山教化センター（同センター・平成16年6月）
- 44 中央学術研究所紀要〈第33号〉
中央学術研究所編（同研究所・平成16年12月）
- 45 中央学術研究所紀要モノグラフ篇 No.8
〈原始仏教聖典資料による積尊伝の研究8 資料集篇5〉
金子芳夫編（中央学術研究所・平成16年3月）
- 46 中央学術研究所紀要モノグラフ篇 No.9
〈原始仏教聖典資料による積尊伝の研究9 個別研究篇1〉
森章司著（中央学術研究所・平成16年5月）
- 47 中央大学人文科学研究所年報〈第25号（二〇〇三）〉
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成16年3月）
- 48 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第9号〉
鶴見大学（同大学・平成16年4月）
- 49 天台学報〈第45号〉
天台学会編（同学会・平成15年11月）
- 50 天理大学おやさと研究所年報〈第10号（二〇〇三）〉
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 51 東京成徳大学研究紀要〈第11号〉
東京成徳大学編（同大学・平成16年3月）
- 52 東京大学史料編纂所研究紀要〈第14号〉
東京大学史料編纂所編（同所・平成16年3月）
- 53 東京立正女子短期大学紀要〈第32号〉
東京立正女子短期大学編（同大学・平成16年3月）
- 54 東西学術研究所紀要〈第37輯〉
関西大学東西学術研究所編（同研究所・平成16年4月）
- 55 東北アジアアラカルト〈第9号、東アジアの本とさし絵〉
宮本和明編（東北大学東北アジア研究センター・平成16年3月）
- 56 東北アジアアラカルト
〈第10号、「東北アジア」"Northeast Asia"の現在・未来を考
える〉 山田勝芳編
（東北大学東北アジア研究センター・平成16年4月）
- 57 東北アジアアラカルト
〈第11号、市民フォーラム明治大正期の根岸町子規庵界限とその
後〉 磯部彰編
（東北大学東北アジア研究センター・平成16年9月）
- 58 東北アジアアラカルト
〈第13号、人口・労働問題から見た東北アジアと東南アジア〉
磯部彰編（東北大学東北アジア研究センター・平成16年12月）
- 59 東北アジア研究〈第8号〉
東北大学東北アジア研究センター編（同センター・平成16年3月）
- 60 東北アジア研究シリーズ〈第6号、「中国研究」の可能性と課題〉
瀬川昌久編（東北大学東北アジア研究センター・平成17年3月）
- 61 東北アジア研究シリーズ〈第7号、モンゴル歴史と民族の諸問題〉
アコーダイ・オチル、岡洋樹編

- 62 東北アジア研究シリーズ
 〈第8号、東北アジアにおける計量地域のための基盤整備〉
 宮本和明編（東北大学東北アジア研究センター・平成16年11月）
 東北アジア研究センター叢書
- 63 東北アジア研究センター叢書
 〈第14号、明治・大正期における根岸町子規庵の風景〉
 磯部晃編（東北大学東北アジア研究センター・平成15年10月）
 東北アジア研究センター叢書
- 64 東北アジア研究センター叢書
 〈第16号、中国東北部白頭山10世紀巨大噴火とその歴史効果〉
 谷口宏充編（東北大学東北アジア研究センター・平成16年3月）
 東北アジア研究センター叢書
- 65 東北アジア研究センター叢書
 〈第17号、ロシア科学アカデミーシベリア支部 モンゴル学・チベット学・仏教学研究所 モンゴル語写本・版本MIコレクション注釈付目録〉
 ニコライ・ツェンピロフ、ツィムジト・ワンチコワ編
 （東北大学東北アジア研究センター・平成16年12月）
- 66 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第36号〉
 東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成16年11月）
- 67 東北学院大学論集〈第38、39号〉
 東北学院大学学術研究会（同研究会・平成15年2月、3月）
 東北福祉大学編（同大学・平成16年3月）
- 68 東北福祉大学研究紀要〈第28巻〉
 東北福祉大学編（同大学・平成16年3月）
- 69 東洋学研究〈第40号〉
 東洋大学東洋学研究所（同研究所・平成15年3月）
- 70 東洋学研究〈別冊 東洋思想における心身観〉
- 71 東洋学論叢〈29（東洋大学文学部紀要 印度哲学科篇第57集）〉
 東洋大学文学部印度哲学科編（同大学文学部・平成16年3月）
 東洋大学中国哲学文学科紀要
 〈第12号（東洋大学文学部紀要第57集）〉
- 72 東洋大学中国哲学文学科紀要
 東洋大学文学部中国哲学文学科編（同大学文学部・平成16年2月）
- 73 東洋哲学研究所紀要〈第20号〉
 東洋哲学研究所（同研究所・平成16年12月）
- 74 東洋の思想と宗教〈第21号〉
 早稲田大学東洋哲学会編（同学会・平成16年3月）
- 75 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第23号〉
 同朋大学仏教文化研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 76 同朋大学論叢〈第88、89号〉
 同朋大学同朋学会（同学会・平成16年3月、12月）
- 77 同朋仏教〈第39号〉 同朋大学仏教学会編（同学会・平成15年7月）
- 78 成田山仏教研究所紀要〈第28号〉
 成田山仏教研究所（同研究所・平成17年2月）
- 79 福井県立大学論集〈第24号〉
 福井県立大学編（同大学・平成16年7月）
- 80 仏教学報〈第40輯〉
 東国大学校仏教文化研究院編（同大学・平成15年12月）
- 81 仏教研究〈第32号〉 国際仏教徒協会編（同会・平成16年3月）
- 82 仏教大学総合研究所紀要〈第11号〉
 仏教大学総合研究所編（同研究所・平成16年3月）
- 83 仏教大学総合研究所紀要

- 〈別冊 近代国家と民衆統合の研究―祭祀・儀礼・文化―〉
- 84 仏教大学総合研究所編〈同研究所・平成16年8月〉
 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 介護保険の施行とその課題〉
- 85 仏教大学総合研究所編〈同研究所・平成17年2月〉
 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 一切経の歴史的研究〉
- 86 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第31冊、図像蒐成9〉
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会編〈同会・平成16年3月〉
- 87 平和と宗教〈第23号〉
 庭野平和財団平和研究会編〈同財団・平成16年12月〉
- 88 北陸宗敎文化〈第16号〉
 金沢大学文学部比較文化化学研究室内北陸宗敎文化学会
 (同学会・平成16年3月)
- 89 密敎教学研究〈第34、36号〉
 日本密敎学会編(同学会・平成14年3月、平成16年3月)
- 90 身延山大学仏敎学部紀要〈第4号〉
 身延山大学仏敎学部編(同大学同学部・平成15年10月)
- 91 身延論叢〈第8号〉 身延山大学仏敎学会(同学会・平成15年3月)
- 92 民具マンスリー〈第36巻12号、第37巻1〜11号〉
 神奈川大学日本常民文化研究所編
 (同研究所・平成16年3月〜17年2月)
- 93 立正大学人文科学研究所年報〈第40号、別冊第14号〉
 立正大学人文科学研究所編(同研究所・平成15年3月)
- 94 立正大学人文科学研究所年報〈第41号、別冊第15号〉
 立正大学人文科学研究所編(同研究所・平成16年3月)

95 龍谷史壇〈第121号〉 龍谷大学史学会編(同学会・平成16年3月)

96 歴史と民俗〈20、21〉
 神奈川大学日本常民文化研究所編
 (同研究所・平成16年3月、17年3月)

97 論叢アジアの文化と思想〈第12号〉 アジアの文化と思想の会編
 (早稲田大学文学部東洋哲学研究室内同会・平成15年12月)

平成十七年 密教文化研究所だより

定例の合同研究会(テーマ「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」)は、今年度から「密教と現代の諸問題」という新たなテーマを加え、生井所長のもと、奥山直司・中村本然両専従所員、乾仁志・藤田光寛各所員、学外研究者として大塚伸夫、川崎一洋、北尾隆心、静春樹、高松哲雄、田中悠文、苔米地誠一、トーマス・ドライトライン、堀内規之、松居竜五各氏にも委託研究員として御参加いただいている。

平成17年6月27日(月) 静春樹「金剛乘におけるガナ・マンダラの系譜」

北川真寛・土居夏樹(各受託研究員)

「東台両密における即身成仏思想」

7月4日(月) 松居竜五「南方熊楠の土宜法龍宛書簡をめぐって」

9月13日(火) 川崎一洋「『般若理趣経』と『真実撰経』」

苦米地誠一『高野山往生伝』の成立について
二)

堀内規之『二十二卷本『表白集』と洛遷』

10月7日(金) 大塚伸夫『無量門微密持経』の密教的展開
について

田中悠文『日本密教にみる秘義の流伝』

11月18日(金) スティーヴン・トレンソン(受託研究員)

「神泉苑善如龍王と醍醐寺清滝権現の関
係」

12月16日(金) 王益鳴(受託研究員)

「中国古代文学理論から見た空海研究の
学術的価値」

平成18年3月24日(金) 奥山直司「故宮調査報告」

乾仁志「弘法大師の両部思想」

中村本然『金剛頂経開題』の構想について」

平成十七年度は密教文化研究所受託研究員として十二名、ステイブ
ン・トレンソン(ベルギー、京都大学大学院博士後期課程)、ペテロ・
バークルマンズ(ベルギー、オリエンズ宗教研究所)、パオラ・ディ・
フェリーチェ(イタリア)、北川真寛・土居夏樹・波多野智人(高野山
大学大学院博士後期課程単位取得退学)・菊谷竜太(東北大学大学院博
士後期課程)・小池満秀(東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学)・
加納和雄(京都大学大学院博士後期課程)・上野康弘(京都大学大学院
博士後期課程単位取得退学)・李新正(中国) 各氏を、それぞれ平成十
七年四月一日から同十八年三月三十一日まで、王益鳴氏(中国、広州市

華南師範大学中文系助教授)を平成十七年十月一日から平成十八年九月
三十日まで受け入れている。

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰す
るため、中野博士の著作物売上金と御親族の寄附金を基金とし、平成十
二年から「中野義照博士奨学金規程」を設けている。平成十七年度は七
月十五日研究所協議会において選考の結果、昨年度に引き続き受託研究員
加納和雄氏が奨励研究員として採用された。研究テーマは「宝性論の研
究」である。

密教文化研究所委託研究員川崎一洋・静春樹両氏は、高野山大学大
院における課程博士學位論文審査の結果、平成十七年六月二十一日、川
崎氏が論題「初期無上瑜伽タントラの研究―曼荼羅とその儀礼を中心
―」で博士(密教学)の学位を、静氏が論題「ガナチャクラの研究―イ
ンド後期密教が開いた地平―」により博士(仏教学)の学位を、それぞ
れ授与された。本学大学院において課程博士が誕生するのは平成八年三
月以来のことである。

平成十四年度から継続事業として開始された高野山親王院所蔵聖教・
古文書調査は、平成十七年三月で上蔵(表蔵)の聖教約二百二十箱の調
査が終わり、鎌倉から江戸初期頃迄の古写本や古文書を中心に、四百七
十九点、約一万五千八百コマを撮影した。平成十七年度は冊子目録作成
に向けた調査データの整理と、若干の追加調査を実施している。

密教文化研究所構成員名簿 (平成十七年十二月現在)

- 所長 生井 智紹 (文学部教授)
- 専従研究所員 中村 本然 (文学部教授)
- 〃 奥山 直司 (文学部教授)
- 兼任研究所員 藤田 光寛 (文学部教授)
- 〃 乾 仁志 (文学部教授)
- 委託研究員 大塚 伸夫 (大正大学講師)
- 〃 川崎 一洋
- 〃 北尾 隆心 (種智院大学教授)
- 〃 静 春樹
- 〃 田中 悠文 (智山専修学院学監)
- 〃 苦米地誠一 (大正大学助教授)
- 〃 トーマス・ドライトライン (高野山大学講師)
- 〃 堀内 規之 (大正大学講師)
- 〃 松居 竜五 (龍谷大学助教授)
- 〃 高松 哲雄 (徳島大学講師)
- 顧問 松長 有慶 (名誉教授)
- 研究所事務室長 甲田 博史
- 専門員 甲田 博史
- 高岡 隆真
- 塩崎まどか (非常勤)

○退任 平成十七年三月三十一日付
【教職員人事】

- 中村 本然 専従研究所員
- 武内 孝善 兼任研究所員
- 藤田 光寛 兼任研究所員
- 乾 仁志 兼任研究所員
- 岩崎日出男 委託研究所員
- 森 雅秀 委託研究所員
- 大塚 伸夫 委託研究所員
- トーマス・ドライトライン 委託研究所員

○就任 平成十七年四月一日付

- 中村 本然 専従研究所員
- 藤田 光寛 兼任研究所員
- 乾 仁志 兼任研究所員
- 大塚 伸夫 委託研究所員
- 川崎 一洋 委託研究所員
- 北尾 隆心 委託研究所員
- 静 春樹 委託研究所員
- 田中 悠文 委託研究所員
- 苦米地誠一 委託研究所員
- トーマス・ドライトライン 委託研究所員
- 堀内 規之 委託研究所員
- 松居 竜五 委託研究所員
- 高松 哲雄 委託研究所員

○就任 平成十七年七月一日付

高野山大学密教文化研究所規程

(総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

(目的)

第二条 この研究所は、真言密教の濼奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以って目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学术交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門

(職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と研究並びに関連領域について総合的な比較研究を行う。

① 研究所長

② 研究所長

③ 研究員

④ 第九条に規定する事務職員 若十名

(研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

(研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が学長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専従研究所員の担当する授業時間数については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱することがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 委託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所事務室がつかさどる。

2 研究所事務室に事務室長、専門員及びその他の専務職員を置く。

3 専務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所事務室長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分

野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関して必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規定の改廃)

第二三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より

適用する。

この規程は平成一四年二月二日より施行する。

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研

究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議課員の議を経て、研究所長が決定する。

附則

1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

1 この規程は、平成一四年五月二日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
 - (2) 研究所員
 - (3) 研究員
 - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会には、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。
- 附則
- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

- (設置)
- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。
- (目的)
- 第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。
- (構成)
- 第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。
- 2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。
- (任務)
- 第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。
- 2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- (改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介 (掲載順)

田中 悠文 密教文化研究所委託研究員

(智山専修学院学監)

北川 真寛 密教文化研究所委託研究員

(高野山大学大学院博士後期課程
退学)

退学)

土居 夏樹 密教文化研究所委託研究員

(高野山大学大学院博士後期課程
退学)

退学)

大塚 伸夫 密教文化研究所委託研究員

(大正大学講師)

加納 和雄 密教文化研究所委託研究員

(京都大学大学院文学研究科博士
後期課程)

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十九号をお届けいたします。今号には田中悠文、北川真寛・土居夏樹、大塚伸夫、加納和雄各先生の論文を掲載いたしました。

平成十八年はいよいよ高野山大学創立百二十周年に当たり、十月一日に予定される記念式典の他、松下講堂改築落成式、九月五日から四日間開催される高野山国際密教学会、平成十六年度から実施している《伝統教学復興プロジェクト》「大日経講伝」全九会の内、終講に向けて残り三会の実施など、関連の記念行事が目白押しの様相です。学内専任の教職員は何らかの形で各種の行事とその準備に関わっており、その余波か、今号には残念ながら当研究所所員の投稿が得られませんでした。

かつて本誌の彙報でも報告を行なってきましたが、平成十二年度から三カ年にわたり、日本私立学校振興・共済事業団の学術研究振興資金の交付を得て研究・調査活動を実施した研究課題「南アジアにおける密教図像の形成と展開に関する研究」は、この程その成果の一部を『密教文化研究所紀要』別冊3として刊行します。執筆者は当研究所の元研究員で現在金沢大学の森雅秀助教授、タイトルは「パーラ朝の仏教美術作例リスト」で、インドやバングラデシュ等に散在する仏像遺品のデータを集成したものです。この他の研究成果についても、年刊の紀要やその別冊で順次公表することになっています。

(甲田記)

高野山大学密教文化研究所紀要 第十九号

平成十八年二月二十一日 印刷

平成十八年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 生 井 智 紹

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (〇七五) 五二三五〇 〇六八〇三〇

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七―一三―一

電話 (〇六) 六四六八六七二六 〇五五二〇〇三〇